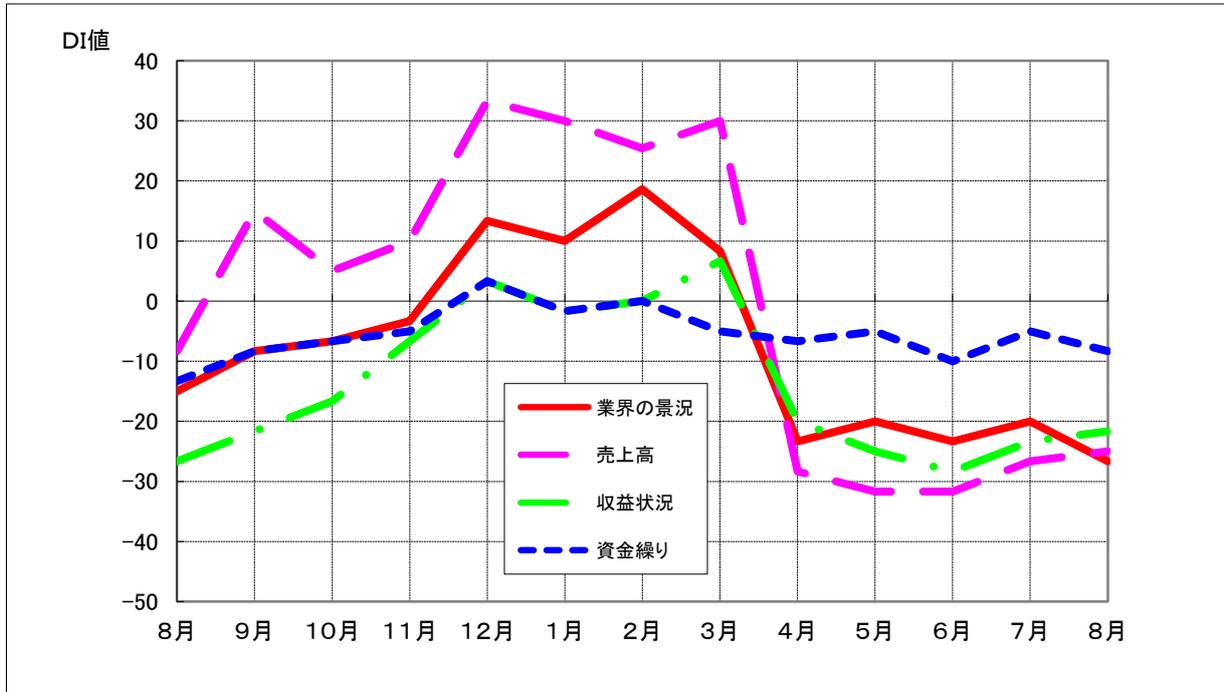


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成25年8月～平成26年8月

単位:ポイント



	H25				H26								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
業界の景況	-15.0	-8.3	-6.7	-3.3	13.3	10.0	18.6	8.3	-23.3	-20.0	-23.3	-20.0	-26.7
売上高	-8.3	15.0	5.0	10.0	33.3	30.0	25.4	30.0	-28.3	-31.7	-31.7	-26.7	-25.0
収益状況	-26.7	-21.7	-16.7	-6.7	3.3	-1.7	0.0	6.7	-20.0	-25.0	-28.3	-23.3	-21.7
資金繰り	-13.3	-8.3	-6.7	-5.0	3.3	-1.7	0.0	-5.0	-6.7	-5.0	-10.0	-5.0	-8.3

○8月のDI値は、前月と比べ、2項目で悪化し、2項目で改善した。「業界の景況」DI値は6.7ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイント悪化し、「売上高」DI値は1.7ポイント、「収益状況」DI値は1.6ポイント改善した。前年同月と比べると、こちらも2項目で悪化し、2項目で改善した。「業界の景況」DI値は11.7ポイント、「売上高」DI値は16.7ポイント悪化し、「収益状況」および「資金繰り」DI値は5ポイント改善した。

8月は製造業を中心に原材料費等の値上げを指摘する報告が多く、コストの増加にともなう採算悪化が懸念事項となっていることから、引き続き今後の動向を注視する必要がある。

○組合の特記事項からは、製造業では、鉄鉄鋳物製造業から、電気料金、燃料代等がさらに値上がりし、費用がかさんで利益率が落ちるばかりだという声が多いとの報告が、機械器具製造業からは、材料費の高騰が止まらないとの報告が出ている。非製造業では、建築設計業から、前年同月比は単月で受注額が上回ったが、累計の受注件数や受注額は大幅に減少しているとの報告が、砂利採取業からは、公共工事の発注が昨年より減っていることで、骨材の出荷量も減少しているとの報告が出ている。